

富山県五箇山（上平村真木）方言の 否定の表現

真田 信治

I. はじめに

1. 調査対象地： 調査地点としたのは、北陸、富山県の西南端に位置し、五箇山郷と通称される地域に属する、東砺波郡上平村真木集落である。戸数5戸の小さな山村集落である。話者の生育地である。ただし、話者は現在、富山市に移住して生活している。
2. 調査年月日： 1995年7月10日
3. 話者： 真田ふみ 大正13年9月27日生（70歳）
4. 調査者・調査場所： 真田信治・話者宅
5. 調査方法： 統一調査票による質問調査
6. その他： ①話者は他の地域での生活歴が長いが、『越中五箇山方言語彙』の著者でもあり、内省は確かである。曖昧な回答のものについては、当地出身の調査者と検討しつつ報告内容を確定した。
②当方言のアクセントは、下がり目の有無と位置だけがその弁別特徴であるので、下がり目の位置を¹で表示した。

II. 調査結果

〔動作・作用の否定表現〕

1. 行かない ○アメ¹ガ フリソ¹ー¹ジャデ キョーワ ドコイモ イカンワ¹。
<ワは終助詞、男女ともに使う。>
2. 降らない ○キョーワ アメ¹ フランワ¹。
3. 行きません ○キョーワ ドコイモ イカンワ¹イシ。
<イシは丁寧を表す終助詞、主として女性が使う。>
4. 行きはしない ○キョーワ ドコイモ イカンワ¹。
(<係助詞のワは存在するが、この質問文脈では1と同じ表現になる。ただし、イカンワの部分卓立して発音する。>)
5. いらっしゃらない ○センセ¹ー¹ナ キョー ドコイモ {①イカッサラン。
(古) ②イカレン。(新)}
<イカッサルは行くの尊敬語。>
6. 行かなかった ○キョーワ ドコイモ イカナンダ¹。
7. 行きはしなかった ○キョーワ ドコイモ イカナンダ¹。
(<この質問文脈では6と同じ表現になる。ただし、イカナンダの部分卓立し

て発音する。>)

8. 行くまい ○アメ¹ フリソ¹ージャデ キョーワ ドコイモ {①《疑いながら》イクマイ。②イカントコ。(新)}
9. 出まい ○アメ¹ フリソ¹ージャデ キョーワ ドコイモ {①《疑いながら》デマイ。②デントコ。(新)}
10. すまい ○キョーワ ナーモ {①《疑いながら》シマイ。②シントコ。(新) ③シンワ。(この形でも意志は表しうる。)}
11. 降らないだろう ○キョーワ アメ¹ フロマイ。
12. 降るにちがいない ○アシタ キット¹ アメ¹ フルワ。
＜～にちがいないに対応する表現は存在しないようである。副詞キットによってそのニュアンスが表される。＞
13. 来ない ○キョーワ ダリ¹モ コンワ。
14. 来はしない ○キョーワ ダリ¹モ コンワ。
（＜この質問文脈では13と同じ表現になる。ただし、コンワの部分を卓立して発音する。＞）
15. 来なかった ○キョーワ ダリ¹モ コナンダ。
16. 見ない ○キョーワ ダリ¹モ ミン。
17. 居ない ○キョーワ ダリ¹モ オラン。
18. 行かずに ①ドコイモ イカント ウチネオル。／②ドコイモ イカズネ ウチネオル。
*①の方が（話者の意志が強いときの表現）という。
19. 行かなくても ○ヤクヤク イカイデモ ヨイ。
＜ヤクヤクはわざわざの意。＞
20. 行かなければ ○ヤクヤク イカナ¹ ヨカ¹ツタ。
21. 行かねば ○ドーアッテ¹モ イカナ¹ ナラン。
＜20と21とは表現上区別されない。＞
22. 行かねばならない ○ドーアッテ¹モ イカンナラン。
23. ～ズ (ヤ・ジャ・ダ)
（＜このような表現は存在しない。＞）
24. 行きもせず～来もしない ○コッチ¹カラ イ¹キモセズ ムコカラ キ¹モセン。
25. 行くか行かないかわからない ○ソノシトノウチネ アシタ¹モ イクカイカ¹ンカ ワカラ¹ン。

〔存在・状態・判断の否定表現〕

26. 無い ○コッダケヨ¹リ ナイワ。
＜ヨリは、しかに対応する表現。ワは終助詞。＞

27. 無いねえ ○コトシミタ^イネ アツツ^イイトシ ナ^イ ノ^ー。
 (最近は、ナ^イ ネ^ーとも言う。)
28. ありはしない ○コトシミタ^イネ アツツ^イイトシ ナ^イワ[。]
 <ありはしないに対応する表現はないようである。ナイワの部分強調することでまかっている。>
29. 無かった ○コトシミタ^イネ アツツ^イイトシ ナカ^ッッタ ノ^ー。
 (最近は、ナカ^ッッタ ネ^ーとも言う。)
30. ありはしなかった ○コトシミタ^イネ アツツ^イイトシ ナカ^ッッタワ。
 <28参照。>
31. 無いだろう ○コトシミタ^イネ アツツ^イイトシ モ^ー ナカ^ロー。
32. 無ければ ○アツツ^イ ナ^ツジャノ ナケリヤ[。] ヨイガ^ネ。
33. 暑くない ○キョ^ーワ アンマリ ア^ツナイ。
34. 暑くはない ○キョ^ーワ アンマリ ア^ツワナイ。
35. 暑くなかった ○キョ^ーワ アンマリ ア^ツ ナカ^ッッタ。
 <暑くなかったは二語として表現されているようである。>
36. 暑くはなかった ○キョ^ーワ アンマリ ア^ツワ ナカ^ッッタ。
37. 暑くないだろう ○アシタ^モ ア^ツ ナカ^ロー。
38. 涼しくない ○キョ^ーワ アンマリ スズシ^ナイ ノ^ー。
39. にぎやかでない ○アンマリ ニギワ^シナイ。
40. にぎやかではない ○アンマリ ニギワ^シワナイ。
41. にぎやかでなかった ○アンマリ ニギワ^シ ナカ^ッッタ。
 <にぎわしくなかったは二語として表現されているようである。>
42. にぎやかではなかった ○アンマリ ニギワ^シワ ナカ^ッッタ。
43. にぎやかではなからう ○モ^ー ムカシミタ^イネ ニギワ^シワ ナカ^ロー。
44. 花ではない ○アリ ハナ^デ ナ^イ。
- [特定の慣用句による否定(不可・禁止)表現]
45. だめだ ○イクラシテ^モ ダ^チカンワ。
46. だめな ○ア^リヤ ダ^チカン ヤ^ツジャ。
47. つまらない ○ヤクチャ^モナイ コト[。] ユ^ーナ。
48. いけない ○イ^ットラ ダ^チカン。
49. 行カレン ○ソンナトコ^イ イカレンゾ。
 <行カレン、入ラレン、見ラレンなどが禁止表現として一般的である。ゾは強調を表す終助詞。>
50. 行くな ○ソンナトコ^イ イ^クナ。
51. するな ○ワル^イコト シ^ンナ。

52. 行くもんじゃない ○ソソナトコイ イクモソデ ナイワ。
 <は助詞を使わないで、ナイワの部分卓立して強調を表す。>
53. たまらない ○アツテ カナワン。
54. しかたがない ○アメソ ヤムガソ マツソツテモ ダチカン。
55. 楽ではない ○トソイ トコマデ アルクガソ ラクデナイ。
56. 歩きたくない ○トソイ トコマデ アルキトソナイ。
57. 大丈夫だ ○アジコトソ セソデモ ダソソナイワ。
 <アジコトは案じ事で、心配の意を表す。>

[否定の応答表現]

58. いや ○ナソモ。
59. いや(強調) ○ナソモ。
 <58に比べて卓立するが語形は同じである。>
60. いいえ ○ナソモ。
 <58と同形。この場合、丁寧の形は存在しないようである。>
61. いや(否定の問いかけに対する応答)
 -1○オソ フツタソワ。
 -2○オソ フラソソソダ。
 <オソはこの場合問いかけの内容にかかわらない単なる応答詞のようふるまいをしている。>
62. どういたしまして ○ソソソソイシ。
 <ソソソソは何のに対応する表現。イシは丁寧を表す終助詞。>

[不可能の表現]

63. できない ○オラ デキソソ。
64. 読むことができない ①ヨムコトソ デキソソ。<稀>/②ヨメソソ。
65. 読むことができない ①ヨムコトソ デキソソ。<稀>/②ヨメソソ。
 <64状況と65能力とで区別はない。>
66. 出られない ○マソチイ デレソソ。
 <心理的状況を特定して表す表現は存在しない。>
67. 食べられない ○コソ コケソ クエソソ。
 <コケは茸のこと。>
68. 食べることができない ○イソガソシテ ヒルマソモ {①クトレソソ。②クエソソ。
 《誘導》}
 <①は食べていられないに対応する表現。ヒルマは昼飯の意。>

[反語・反発の強調表現]

69. 知るものか ○ソソソソコトソ オラガ ソソソ シツソソソルヨ。

70. 誰が行くものか ○ソソナトコイ ダリガ イコンジャ。
71. なんで行くか ○ソソナトコイ ナンデ イカンナン。
 <イカンナンは行かなくてはならないに対応する表現。>
72. なんで恥ずかしいものか ○ナンガ ハズカシーヨ。
73. 行かないでおるものか ○イカン ハズコ。
74. やれるか ○ソリガ ワリン デキルコ。
75. シテイラン ○ソソガネ シトナケリヤ シテイランワ。

[特定の副詞の関わる否定表現]

76. 少しもはかどらない ○アツテ シゴトガ チョッコモ ハカドラン。
77. ぜんぜんできていない ○シゴト マッデ デキトラン。
78. いっこうに降らない ○アメガ チョッコモ フラン。
79. あまり降らない ○コトシモ アメ アンマリ フラン。
80. (予想外に) たくさん ○イモガ オモイガケン デカイコト トレタ。

[その他否定形式の関わる諸表現]

81. いいではないか ○ヤクヤク イカイデモ ヨイガデ ナイコ。
 <ヤクヤクはわざわざの意。>
82. いいのではないか ○ヤクヤク イカイデモ ヨイガデ ナイコ。
 <81と82とで表現の区別はない。>
83. いいかもしれない ○ヤクヤク イカイデモ {①ヨイカモ ワカラン。②
 ヨイカモ シレン。《誘導》}
 (①と②は同じ。)
84. 行かないか ○イッショネ イカンコ。
85. くれないか ○コリ モッテ クレンコ。
86. くれませんか ○コリ モッテ クリヤランカイカ。
87. 下さいませんか ○コリ モッテ クダサランカイシ。
88. 行かないと ○ハヨイ カント。

Ⅲ. まとめ

対象地における否定の表現は、全般的には西日本方言の系譜にあるとみてよい。その中でも比較的古老のものを保っているところに特色がある。ここでのデータのうちで最も特徴的な点は、否定を強調する「～はしない」「～はしなかった」などの、助詞「は」を介する形式が欠けていることである。たとえば、「行く」の場合であれば、その否定形イカン、イカンナダ(過去)の部分に卓立することによって強調が表現されるわけである。

(さなだしんじ 大阪大学文学部)